

会 議 録

付 属 機 関 又 は 会 議 体 の 名 称	第6回 男女平等推進センター運営委員会
事 務 局 (担 当 課)	男女平等推進センター
開 催 日 時	平成31年1月31日(木) 午後2時～4時
開 催 場 所	エポック10研修室2
出席者	委 員 岡田千枝子 鈴木順一 阿部やよい 小吹文紀 堀江咲智子 野村祥子 卜沢彩子 水埜多喜子 男女平等推進センター所長
	事務局 2名
会 議 公 開 の 可 否	(公開)・非公開・一部公開 傍聴人 0名
非公開・一部公開 の場合はその理由	
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 事業報告および今後の予定について 2. エポック10フェスタ2019について 3. その他
審 議 経 過 【議題3】 その他 <p>●議題の順序を変更した。事務局より、男女共同参画推進条例の改正と補欠委員が決定したことについて報告。</p>	
【議題1】 事業報告および今後の予定について <p>●事務局より、資料1-1に基づき各グループの事業報告と今後の予定を報告。</p>	
委員	事業企画グループの事業について、えぼっく・めいかー発行は重点課題7に、エポック10フェスタ2019実行委員会は重点課題6に該当しているかと思う。
事務局	改めて各事業を見直し、プラン重点課題に該当する番号を記載する。
委員	エポック10シネマについて、他区の映画上映と比較したところ、入退室時に外の光が入り上映の邪魔にならないようにする工夫が欲しい。また会場の机・イスの並びについて斜めに配置するなど参加者が見やすいように工夫することや、上映後に時間のある参加者が集まって感想を述べる事が出来るような場を開くことで、さらに有意義な事業になるかと思う。
委員	エポック10シネマは、保育を必要とするお母さん方の間で人気であり、この事業をきっかけに男女共同参画に興味を持ってもらうことにつながるため、ぜひ実践してほしい。
事務局	シネマについて、ただいまのご意見を参考に工夫を施していきたい。
<p>●事務局より、資料1-2に基づきエポック10におけるプラン重点課題の実施状況を報告。またエポック10で実施している企業向けワーク・ライフ・バランス推進講演会の概要、集客に課題があることを説明し、各委員より意見をいただきたい旨を説明。</p>	
事務局	資料1-2はエポック10の取組みを示した資料となるが、男女共同参画推進プランは全庁的に取り組むべきものであるため、次回運営委員会にて豊島区としてのプラン実施状況の報告を行う。またプランの重点課題については、男女共同参画推進会議で重点課題についての進捗を報告し、要望を受け取るため、次回の運営委員会にて要望を踏まえた意見交換をお願いしたい。
委員	企業向けワーク・ライフ・バランス推進講演会について、企業の経営者や管理職、人事労務担当者ともなれば、強制でない限り、明確なメリットがないと講演会などには来ないと思う。
委員	そもそも講演会は必要だと思っている方だけが参加すればいいのではないか。
委員	区長が出席して名刺交換が出来るなどのメリットがあれば、各社の社長は喜んで出席されるかと思う。
委員	ハローワークの担当者と呼ぶなど、採用と関連したしかけもメリットと成り得るかと思う。
委員	この講演会の目的は何か。参加者への啓発が主な目的なのか、それとも認定企業へ応募していただくことが目的なのか。
事務局	ワーク・ライフ・バランス推進のための啓発という目的もあるが、最終的にワーク・ライフ・バランス推進企業認定制度へ申請していただきたいと考えている。
委員	現在認定されている企業の中ではどんな業種が多いのか。
事務局	建設業が一番多く、認定企業全体の半数以上を占めている。公共調達を行っている建設業にとって、認定による入札時の加点が大きなメリットとなっている。建設業に次いで情報通信業が多い。毎年1社ずつほど認定企業への申請があり認定に至っている。認定されると区の広報媒体を使用してPRを行ったり、認定を証明するロゴマークを使用できたりするが、それらをメリットとして捉えていただいているのではないかと思う。

委員	それならば、講演会のターゲットをIT企業に絞ったテーマで開催するのも良いかと思う。
委員	ワーク・ライフ・バランスに関する啓発イベントを、企業が遵守すべき条例の説明会などと一緒に開催したらどうか。企業が守るべき法律を解説した講座などは、経営者や人事労務担当者の興味を引く内容であり、参加者の確保につながるかと思う。
委員	やはり人事関連のテーマ、例えば「離職を減らすためには？」といったテーマなどが企業には受けがよいと思う。
委員	既に認定している企業に対して、認定されてよかったことなどを聞いたアンケートを取るのはどうだろうか。制度周知の場面で活用していくことができる。
結論	⇒次回運営委員会にてプラン実施状況調査の報告を行う。その上で、エポック10で行う各事業について運営委員会として意見を挙げていく。また、企業向けワーク・ライフ・バランス推進講演会については、いただいた意見を参考に来年度の事業を企画していく。
【議題2】エポック10フェスタ2019について	
●事務局より、資料2に基づきエポック10フェスタ2019実行委員会の決定事項を報告。	
事務局	前回運営委員会でフェスタ当日およびプレフェスタでのイベントには参加しないということで結論が出ていたが、鳥山委員から運営委員会の展示スペース内でワークショップを行いたいというご提案があったので、運営委員会としてイベントを行うかどうかについて再確認をしたい。
委員	ワークショップの他に、展示案内などの意見もあったが、それらは各団体のブース内で行うもので、イベントに含めなくていいのではないかと思う。
事務局	もし何らかのイベントを開催される場合、プレフェスタ2日目はイベントスペースが終日空いているため、可能であれば運営委員会の展示スペース内ではなくイベントスペースでの開催をお願いしたい。
委員	ワークショップ形式のイベントとなると、イベントスペースでの開催は場所が広すぎるのではないかと思う。
委員	4月以降パートナーシップ制度導入が決まった場合、当事者だけでなく区民にも広く啓発活動をして行く必要がある。現在、LGBT関係の啓発誌などは発行しているか。もし発行しているならば、その説明会をイベントスペースで開いてもいいのではないかと思う。
事務局	多様な性自認・性的指向に関する対応指針というものを平成28年2月に職員向けに作成したが、今回新たに一般向けの啓発用リーフレットとして発行することを予定している。
委員	それならば、そのリーフレットを使用した啓発イベントを開催してみてもどうか。当事者の方をお呼びしたりして、パネルディスカッションを行うのもいいと思う。
委員	予算があるのであれば、希城なつきさんをお呼びして30分くらいのイベントをやってみてもどうか。内容は歌とトークを想定している。
委員	今、運営委員としてプレフェスタを盛り上げるということを命題に議論しているが、そもそもイベントスペースの空いている時間帯にイベントを開催しなければならないのか。どんな催しをやるにせよ、まずは運営委員会としてイベントを開催するかどうかの決を取るべきである。
委員長	それではプレフェスタにおいて、運営委員会としてイベントを開催するかどうかを決めることとする。
結論	⇒運営委員会として、プレフェスタ全体の集客貢献のため、プレフェスタで検討できるイベントの講師や登壇者に打診し、開催を検討することとし、講師依頼や事務局との調整などは水埜委員に一任する。ワークショップ等については、展示の一環として行うこととする。運営委員会の展示については、2018年に作成したものをブラッシュアップする。展示物の修正内容等については次回検討する。
委員長	次回運営委員会は、平成31年4月11日（木）午後2時～4時、エポック10研修室1で行う。
会議結果	<ul style="list-style-type: none"> ・エポック10で開催済みの事業および今後の予定を報告し、課題の検討を行った。またエポック10における男女共同参画推進プラン重点課題の実施状況を報告した。また、企業向けワーク・ライフ・バランス推進講演会について、来年度の開催に向けて委員より意見をいただいた。 ・エポック10フェスタ2019のプレフェスタイベントについて再検討を行い、参加することを決定した。運営委員会の展示物については、次回委員会で検討することとした。
配付資料	<p>資料1-1 事業報告・今後の予定</p> <p>資料1-2 男女共同参画推進プラン重点課題における実施事業数一覧</p> <p>資料2 第2回エポック10フェスタ2019実行委員会報告書</p>